

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【公開番号】特開2002-334014(P2002-334014A)

【公開日】平成14年11月22日(2002.11.22)

【出願番号】特願2002-41475(P2002-41475)

【国際特許分類第7版】

G 06 F 12/00

G 06 F 13/00

G 06 F 17/30

【F I】

G 06 F 12/00 5 4 6 R

G 06 F 13/00 5 4 0 T

G 06 F 17/30 3 4 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月7日(2005.1.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1つのファイルを複数の言語で提供するシステムであつて、

複数の言語で表示するためのテキストを有するファイルと、

前記ファイル内のテキストをそれぞれ一意に識別するストリング識別子と、

前記ファイルについて利用することのできる言語をそれぞれ一意に識別する言語識別子と、

前記ストリング識別子および前記言語識別子によって定義されるテキストを表示するための現地化ストリングと、

複数の前記現地化ストリングを格納するメッセージカタログと、

前記ストリング識別子および前記言語識別子に従つて、前記メッセージカタログから前記現地化ストリングを検索する現地化ストリング検索関数と、

を備えるシステム。

【請求項2】

前記現地化ストリング検索関数は、前記ファイル内のテキストのそれぞれについて、前記ストリング識別子および前記言語識別子に従つて前記メッセージカタログから前記現地化ストリングを検索する、

請求項1に記載のシステム。

【請求項3】

前記ファイルは、ハイパーテキストマークアップ言語(H T M L)である、

請求項1に記載のシステム。

【請求項4】

1つのファイル内のテキストを表示するための複数の現地化ストリングを有するメッセージカタログにリンクされた装置を使用して、該ファイルを複数の言語で提供する方法であつて、該複数の現地化ストリングのそれぞれは、該ファイル内のテキストをそれぞれ一意に識別するストリング識別子と、該ファイルについて利用することのできる言語をそれぞれ一意に識別する言語識別子とによって定義されており、

ユーザの指定した言語でファイルを要求するステップと、
前記指定された言語を識別するステップと、
前記ストリング識別子および前記指定された言語を用いて前記メッセージカタログと交信するステップと、
前記ストリング識別子および前記指定された言語によって指定される前記現地化ストリングを返すステップと、
を含む方法。

【請求項 5】

前記ストリング識別子および前記指定された言語によって指定される前記現地化ストリングの長さを返すステップをさらに含む、
請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記指定された言語を識別するステップの前に、
言語識別子取得関数を実行するステップと、
前記言語識別子取得関数から前記言語識別子を取得するステップと、
をさらに含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

前記言語識別子取得関数を実行するステップは、
前記装置により前記メッセージカタログがサポートされているか否かを判断するステップと、
前記メッセージカタログがサポートされていない場合、該メッセージカタログのデフォルト言語を返すステップと、
をさらに含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

さらに、
前記ユーザにより言語が指定されたか否かを判断するステップと、
前記ユーザにより言語が指定されている場合、該ユーザにより指定された言語を返すステップと、
前記ユーザにより言語が指定されていない場合、前記メッセージカタログのデフォルト言語を返すステップと、
を含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

さらに、
前記装置のデフォルト言語があるか否かを判断するステップと、
前記コンピューティング装置のデフォルト言語がある場合、前記指定された言語を返すステップと、
前記コンピューティング装置のデフォルト言語がない場合、前記メッセージカタログのデフォルト言語を返すステップと、
を含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 10】

前記メッセージカタログと交信するステップの前に、キャラクタセット識別子を用いて前記メッセージカタログと交信するステップをさらに含む、
請求項 4 に記載の方法。